

中国の史書があります。その中で当時の日本を「草木茂生し、行くに前の人を足す」と記しているように、日本は世界でも屈指の森に恵まれた国であります。よく、「文明は森を求めて旅をし、森は文明とともに去っていく」と言われますが、日本では森が守られてきました。それは、先人が森とともに生きる文化を育ててきたからであります。

一方、私たち現代人はと申しますと、欧米に追いつき追い越せを目標にひたすらモノの豊かさ優先の営みを繰り返して、自然と調和した生き方や自然という大きな懐に抱かれていくことへの感謝は、さして意味のないこととして切り捨ててきたように思われます。今、地球規模での環境汚染が指摘されていますが、根本はここにあるような気がしてなりません。

幸い、新津市では、平成八年に発足した「いにがき森林の仲間会」の皆さんの精力的な取り組みもあって、森の大切さを見直す気運が高まっています。また、市民の皆さんの力によるグリーン&グリーン作戦や身近な空気に花を植える活動も、着実にその野を広げています。常日頃から私は、森と人間の分かち難いメカニズムを、あるいは花や緑に囲まれたまちづくりの必要性を力説してきましたただだけに、こうして美しい心意気を誠に嬉しく思っております。



「美しい地域づくり」と一口に申ししても、一朝一夕にできるものではありません。行政だけでなく、市民の皆さん、事業所の皆さん、そして行政の三者が、ともに「美しい心意気」を発揮してはじめて実現できます。

もとより、都市は経済圏であると同時に生命圏であります。皆さんと手を携えて、緑化フェアでも、

くらんだ花いっぱい、緑いっぱい文化を、また森とともに生きる文化を、生活の中に、まちの中にと広げ、美しい地域を追い求めてまいりたいと考えております。

さて、平成十一年度の当初予算であります。一般会計におきましては総額二百七十七万四千円を計上いたしました。

現下の地方財政は、住民生活に直結する社会資本の整備、高齢化社会の到来に備えた保健福祉施策の充実等、多くの政策課題がある一方で多額の借金残高を抱えており、極めて厳しい財政運営を強いられ続けております。当市における財政環境も例外ではなく、新年度におきましては、恒久的減税対策として地方特例交付金が復活したもの、また、地方交付税の増加も見込まれるところではあります。

しかし見方を変えれば、こうした危機は逆に好機でもあります。それは、今こそ行政改革の理念に沿って事務事業に検証を加えれば、真に投資すべきは何かが見えてくるからであります。

そこで新年度の当初予算につきましては、経常経費の節減はもとより、行政改革の理念に留意しつつ編成作業にあたるところであります。



なお、その他の特別会計等の当初予算額であります。

- 老人保健特別会計 七十五億三千九百七十万円
- 下水道事業特別会計 四十八億二千九百六十万円
- 工業団地造成事業特別会計 三百五十六万六千五百九十六円
- 水道事業特別会計 二十二億九千五百九十六万六千五百九十六円
- 各事業についての具体的な内容は、予算の提案理由におきまして申し述べるいたします。以下、考え方を中心に特に配慮しました点を順次ご説明申し上げます。

◆民生費：主に福祉関係に使用のお金

●教育費：幼稚園・学校の管理や生涯学習などに使用のお金

●総務費：市の総括的な事務に使用のお金

●衛生費：保健衛生・ごみ処理などに使用のお金

●市債：市が市に納める税金

◆地方交付税：所得税など国が徴収した税金の中から、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金

◆市債：市が行う建設事業などの財源に充てるため借入したお金

◆国庫支出金：市が行う特定の事業の財源として、国から市に交付されるお金

◆分担金・負担金：市が行う特定の事業経費に充てるため、事業によって利益を受ける人や団体から徴収するお金



でもやり遂げなければならない課題の一つであります。

そこで、平成十一年度の市政運営の基本的な考え方の第一には、「日々行政改革」に向けた道すじを鮮明にするということであり、

当市の行政改革は、「市民の負担によって提供される行政サービスは、常に効率的、効果的でない限りならぬ」との認識に立って、また、「未来は単なる現在の延長ではなく、選択し創造されるもの」との確信のもと、鋭意、取り組んでまいりたいと考えております。

もちろん、単なる時点修正にとどまることなく、市民の皆さんが安心して新津のまちで暮らしていける中身でなければなりません。そのためには、行政改革は何としないか、



あるとすればそれはどこか、二点目は、変わらなかつたのはどこに問題があつて変わらなかつたのか、そして三点目は、今後、その問題をどう解決していくか、ということであり、

いずれも難儀な作業ではありませんが、「政治は過去と未来のかけ橋」との信念をもつて取り組み、二十一世紀への道すじを粘り強く編み上げていきたいと考えております。ご理解、ご協力を切に願ひ申し上げる次第であります。

基本的な考え方の二番目には、これまでも進めてまいりましたが、森、緑、花に親しみ、美しい地域づくりを着実に進めようということであり、

「案内のように、昨年開催された「全国都市緑化にいがたフェア」は、約百万人の人々で賑わいました。当新津会場には三十万人余のお客様が訪れたところですが、多くの方々から、「新津は森を生かしたまちづくりができるから羨ましい」との声をいただきました。そこで、

事実、秋葉公園、石油の里、美術館、遊歩道、そして植物園などが一体となった個性的な空間は、豊かな丘陵地がもたらしたものであります。改めて、この自然の恵みに感謝を深めていくところであり、

二、三世紀頃の日本の姿を伝える書物に、「魏志倭人伝」という

会 計 名	予算額(歳入・歳出)	前年度比
老人保健特別会計	75億3970万円	+ 9.6%
下水道事業特別会計	48億2100万円	+ 6.9%
公共用地先行取得事業特別会計	520万円	-65.1%
国民健康保険特別会計	39億4600万円	- 0.8%
工業団地造成事業特別会計	316万円	-32.8%
水道事業会計	22億3596万円	- 6.3%

※農業集落排水事業特別会計は、平成11年度から下水道事業特別会計に含まれました。

市民一人当たり
使われるお金は

合計31万1240円

総務費 23,787円
公債費 48,544円
民生費 67,981円
民生費 67,981円
土木費 58,662円
教育費 30,138円
農林水産業費 19,792円

衛生費 19,660円
衛生費 19,660円
商工費 13,347円
商工費 13,347円
消防費 10,409円
消防費 10,409円
議会費 3,623円
議会費 3,623円

その他 15,297円
その他 15,297円

用語の説明